



株式会社 キングジム

2022年 6月期

第2四半期決算説明会

2022年2月24日 (木)

■ 第2四半期実績

過去最高益となった前年に対して減収減益となりました。

■ 通期業績予想

各利益は、期初予想に対して10数%減に修正しております。売上高は据え置きとなります。

■ 株主還元

配当性向については、目途としている40%を引き続き維持しております。

株主優待制度を見直しました。

■ 中期経営計画

第10次中期経営計画の初年度である今期において、成長分野に位置づけているインテリアライフスタイル事業のさらなる拡大を目指して、ライフオンプロダクツ株式会社を子会社化いたしました。

- 2022年6月期 第2四半期実績
- 2022年6月期 通期業績予想
- 株主還元について
- 中期経営計画について
- グループ経営について
- サステナビリティへの取り組みについて
- プライム市場について
- コーポレートメッセージ

- 2022年6月期 第2四半期実績
- 2022年6月期 通期業績予想
- 株主還元について
- 中期経営計画について
- グループ経営について
- サステナビリティへの取り組みについて
- プライム市場について
- コーポレートメッセージ

■ 損益計算書概要

売上高は、前年比98.3%となり前年を1.7%下回りました。

営業利益は、原材料価格の高騰などにより前年を44.1%下回りました。

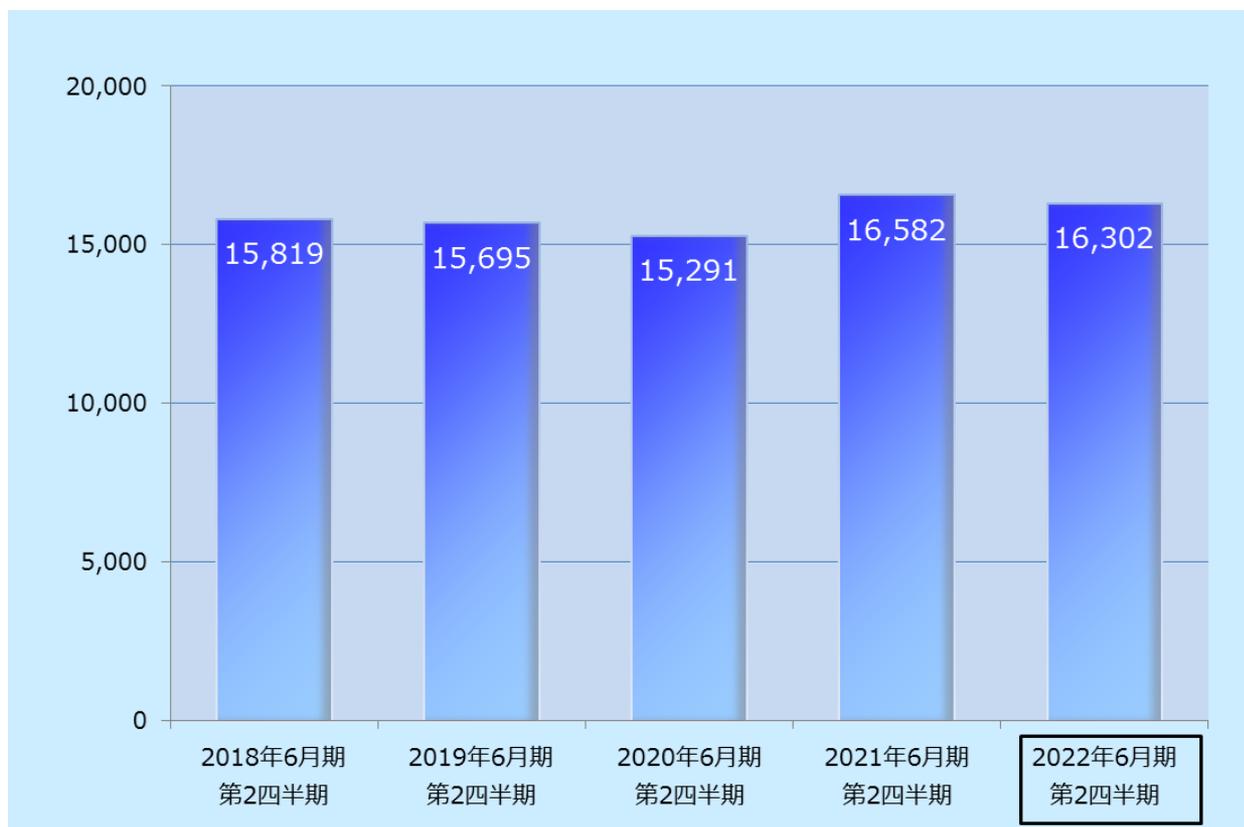
期初予想に対しては、需要が期初の想定を下回ったことにより、売上高は6.8%減となりました。各利益については、原材料などのコストの上昇が想定を上回ったため、期初予想を下回っています。

(単位：百万円)	2020年6月期第2四半期		2021年6月期第2四半期		2022年6月期第2四半期		対前々年		対前年	
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率	増減額	増減率
■ 売上高	15,291	100.0%	16,582	100.0%	16,302	100.0%	+1,010	+6.6%	-280	-1.7%
■ 営業利益	108	0.7%	864	5.2%	483	3.0%	+375	+347.7%	-381	-44.1%
■ 経常利益	255	1.7%	1,033	6.2%	626	3.8%	+370	+144.8%	-406	-39.4%
■ 親会社株主に帰属する 四半期純利益	160	1.0%	691	4.2%	368	2.3%	+208	+130.1%	-322	-46.6%

(単位：百万円)	2022年6月期第2四半期		期初予想		期初予想比	
	実績	構成比	予想値	構成比	増減額	増減率
■ 売上高	16,302	100.0%	17,500	100.0%	-1,197	-6.8%
■ 営業利益	483	3.0%	750	4.3%	-266	-35.5%
■ 経常利益	626	3.8%	870	5.0%	-243	-28.0%
■ 親会社株主に帰属する 四半期純利益	368	2.3%	600	3.4%	-231	-38.5%

■ 売上高推移

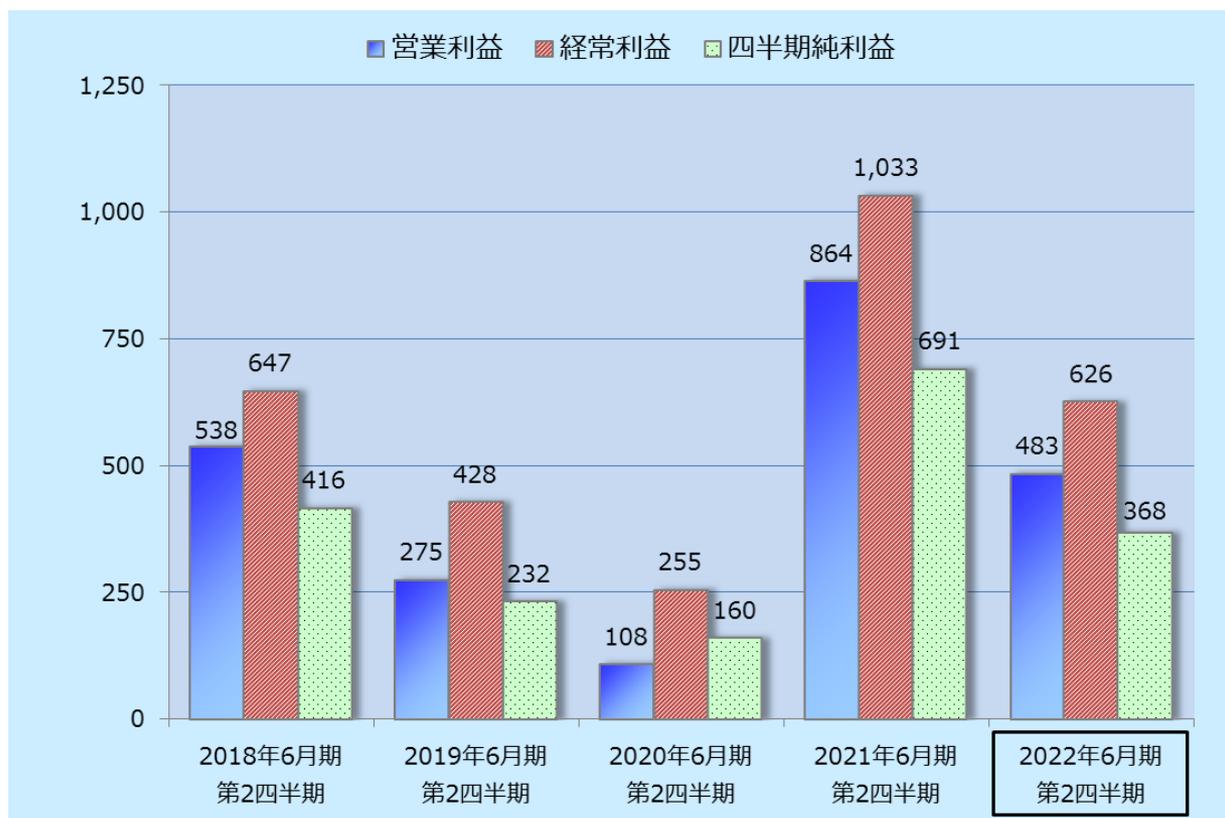
売上高は、巣ごもり需要やテレワーク需要、さらには「テッテ」などコロナウイルス感染症関連製品のヒットなどにより過去5年で最高だった前年にはわずかに及ばなかったものの、163億円を突破し前年に次ぐ売上高となっています。



(単位：百万円)

■ 利益額推移

各利益は、売り上げ好調かつグループ全体での各種コスト削減策が大きく寄与した前年に比べて、原材料価格などの高騰や円安などによるコスト上昇が影響して減少しています。



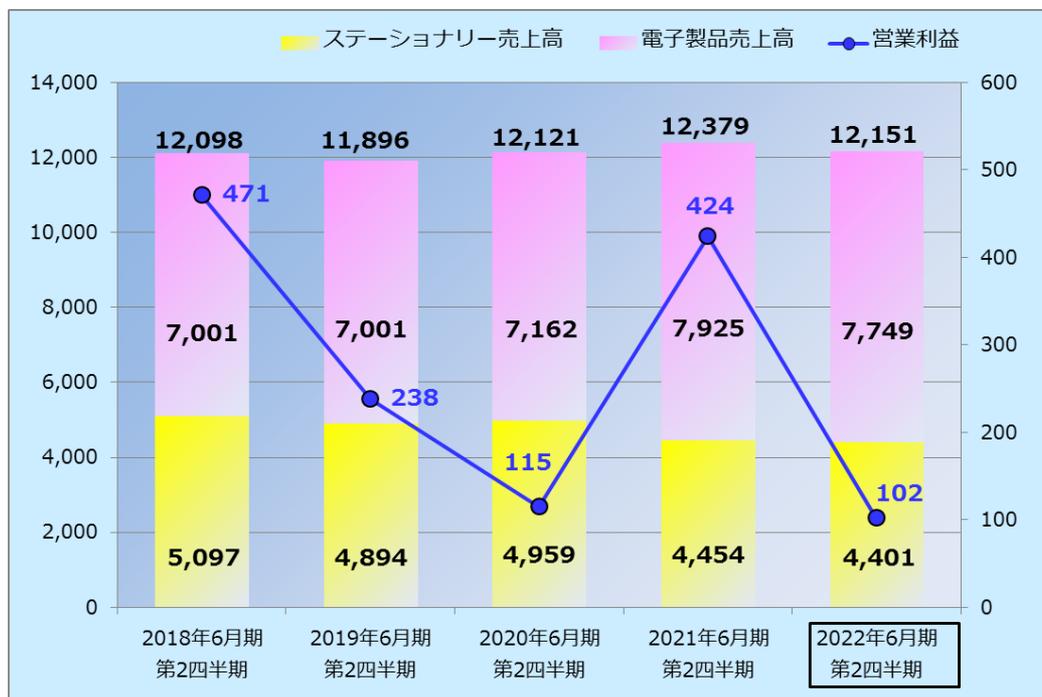
(単位：百万円)

■セグメント別 売上・営業利益推移

■文具事務用品事業

売上高：法人需要の低迷により主力商品の販売減があった一方で、「テツテ」などの衛生・健康用品が引き続き好調に推移しました。その結果、売上高は12,151百万円となりました。

営業利益：円安や原材料価格高騰などの影響を受け、102百万円となっております。
12月より一部商品の価格改定を実施し、収益の改善に取り組んでおります。



(単位：百万円 ※右軸…営業利益)

■セグメント別 売上・営業利益推移

■インテリアライフスタイル事業

売上高：ぼん家具については、前年の巣ごもり需要からの反動減により減収となっています。一方で、ラドーナではキッチン家電、アスカ商会では花類・グリーンなどといった主力商品を中心に売り上げを伸ばしました。その結果、当セグメントの売上高は4,150百万円となりました。

営業利益：379百万円と、前年にはわずかに及ばないものの、高水準を確保しております。



(単位：百万円 ※右軸…営業利益)

■ 売上総利益率推移

売上総利益率は38.4%となり、過去5年間でもっとも高かった前年より減少しています。しかし、円安や原材料価格の上昇などがありながらも、それまでの各種コスト削減策の効果が継続しており、例年と大きな差異はありませんでした。

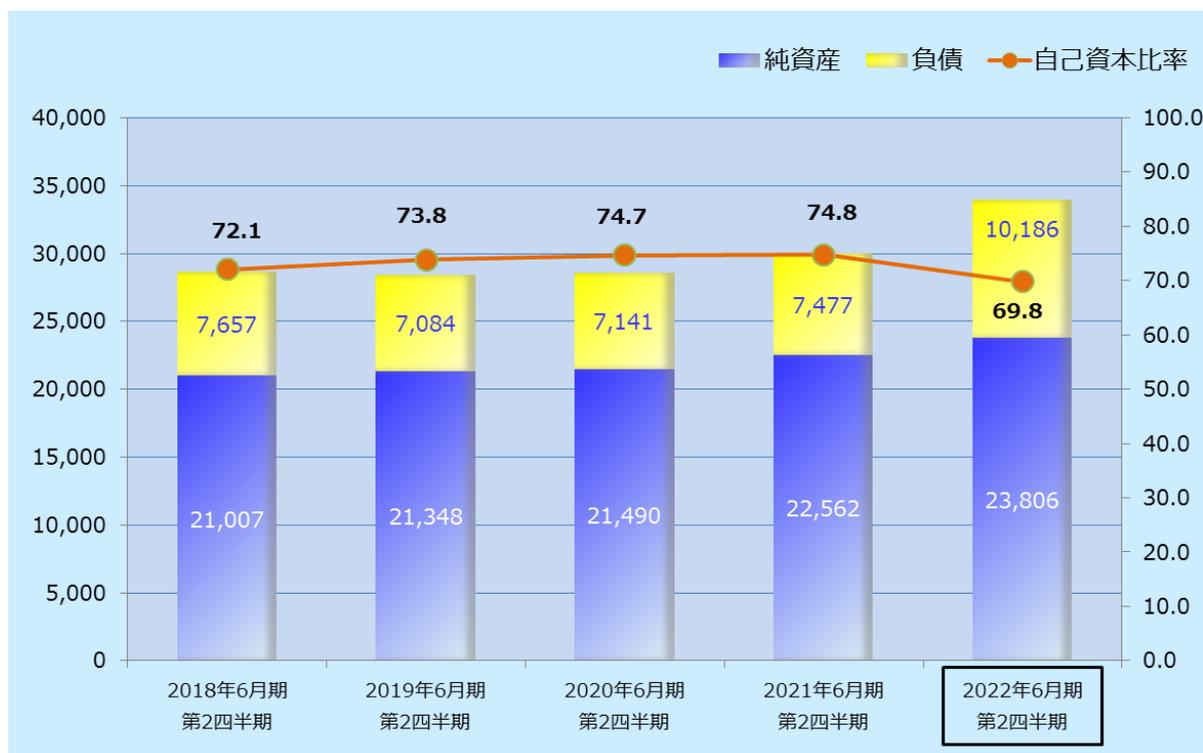


(単位：%)

■ B / S 及び自己資本比率推移

総資産は33,993百万円となり、前年同期と比べて3,953百万円増加しました。これは、2021年11月にライフオンプロダクツ株式会社がグループ入りし、のれんなどの資産が増えたことによります。

一方で、自己資本比率は69.8%に下落しました。これは、ライフオンプロダクツ株式会社の全株式取得のための借入金35億円などが増加したことによります。



(単位：負債・純資産…百万円、自己資本比率…%)

■ 連結キャッシュ・フロー推移

営業活動によるキャッシュ・フローの資金使用は、主に棚卸資産の増加額や法人税等の支払額によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローの資金使用は、主にライフオンプロダクツ株式会社の全株式取得による支出によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローの資金獲得は、ライフオンプロダクツ株式会社の全株式取得のための借り入れのため、大幅に増加しております。

(単位：百万円)	2018年6月期 第2四半期	2019年6月期 第2四半期	2020年6月期 第2四半期	2021年6月期 第2四半期	2022年6月期 第2四半期
■ 営業活動によるキャッシュ・フロー	-106	-428	-13	489	-1,414
■ 投資活動によるキャッシュ・フロー	-152	-175	-183	-270	-3,355
■ 財務活動によるキャッシュ・フロー	168	930	1,016	95	3,827
■ 現金及び現金同等物に係る換算差額	28	28	-0	-12	52
■ 現金及び現金同等物の増減額	-63	353	819	302	-891
■ 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	-	-	314	-
■ 現金及び現金同等物の四半期末残高	4,944	4,820	5,187	6,027	6,141

- 2022年6月期 第2四半期実績
- **2022年6月期 通期業績予想**
- 株主還元について
- 中期経営計画について
- グループ経営について
- サステナビリティへの取り組みについて
- プライム市場について
- コーポレートメッセージ

【売上高】 期初予想を据え置きといたします。

理由：半導体不足や東南アジアの工場における稼働制限の影響がある一方で、2021年11月に全株式を取得したライフオンプロダクツ株式会社が第3四半期より連結業績に寄与いたします。
売上高は38,000百万円となり、前年に対して4.6%増となります。

【各利益】 期初予想に対して、17.9%～16.3%減といたします。

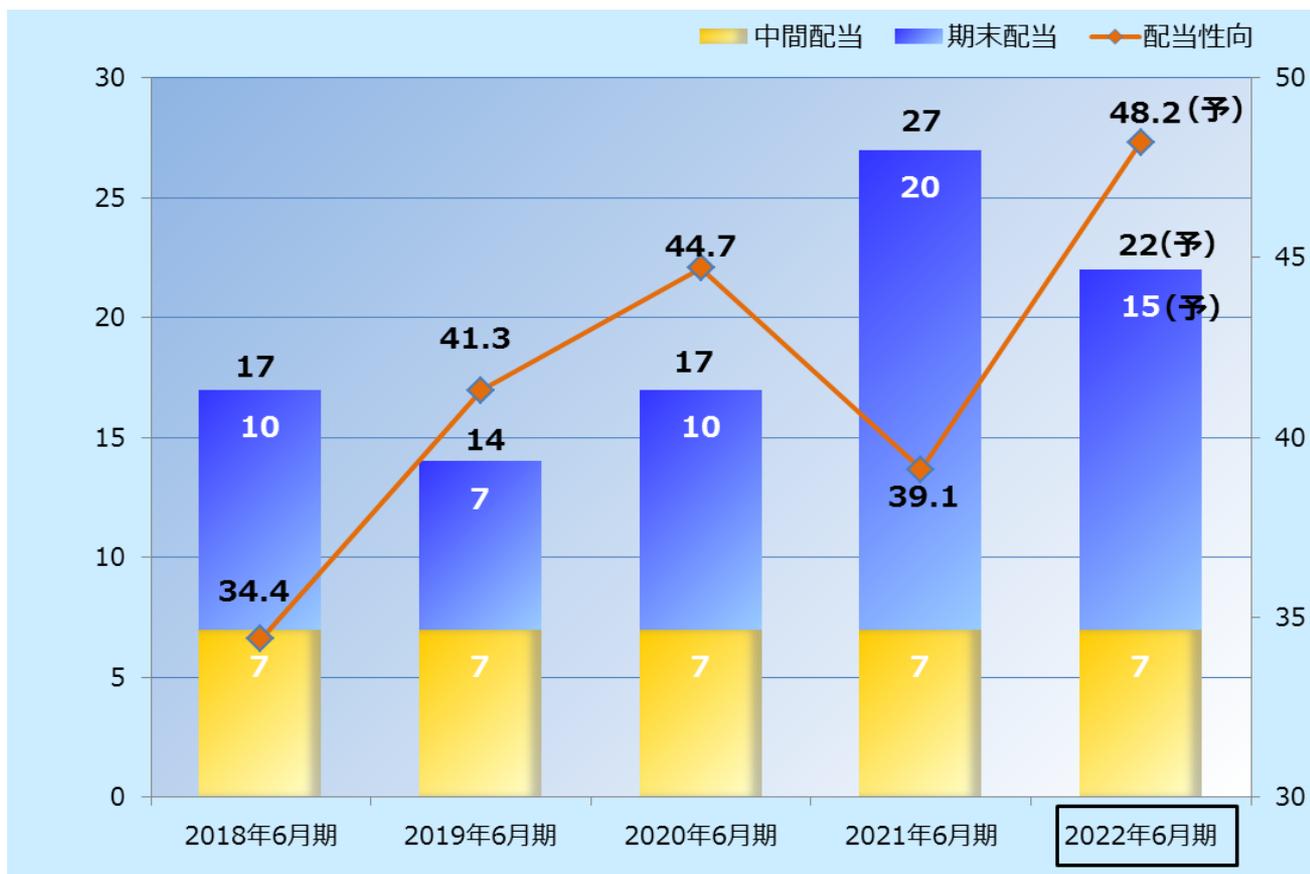
理由：円安や原材料価格の高騰が継続すると考えております。
営業利益は1,700百万円となり、前年に対して29.7%減となります。

(単位：百万円)	2020年6月期		2021年6月期		2022年6月期		対前々年		対前年	
	実績	構成比	実績	構成比	修正予想	構成比	増減額	増減率	増減額	増減率
■ 売上高	33,455	100.0%	36,319	100.0%	38,000	100.0%	+4,544	+13.6%	1,680	+4.6%
■ 営業利益	1,232	3.7%	2,416	6.7%	1,700	4.5%	+467	+37.9%	-716	-29.7%
■ 経常利益	1,489	4.5%	2,755	7.6%	1,900	5.0%	+410	+27.6%	-855	-31.0%
■ 親会社株主に帰属する 当期純利益	1,081	3.2%	1,963	5.4%	1,300	3.4%	+218	+20.2%	-663	-33.8%

(単位：百万円)	2022年6月期		期初予想		期初予想比	
	修正予想	構成比	期初予想	構成比	増減額	増減率
■ 売上高	38,000	100.0%	38,000	100.0%	0	0.0%
■ 営業利益	1,700	4.5%	2,070	5.4%	-370	-17.9%
■ 経常利益	1,900	5.0%	2,270	6.0%	-370	-16.3%
■ 親会社株主に帰属する 当期純利益	1,300	3.4%	1,560	4.1%	-260	-16.7%

- 2022年6月期 第2四半期実績
- 2022年6月期 通期業績予想
- **株主還元について**
 - 中期経営計画について
 - グループ経営について
 - サステナビリティへの取り組みについて
 - プライム市場について
 - コーポレートメッセージ

配当方針：安定した配当の実施を前提に、連結ベースの配当性向40%を目途とします。



(単位：配当…円、配当性向…%)

株主優待制度の変更

当社は、当社の事業に対するご理解を深めていただき、より多くの方々に当社株式をご保有いただくことを目的に、株主優待制度を実施しております。株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに、当社株式の投資魅力を高めることを目的として、優待内容をより充実したものに變更させていただくことといたしました。

	所有株式数	優待内容
変更前	500株以上1,000株未満	3,000円相当の当社またはグループ会社の商品
	1,000株以上	6,000円相当の当社またはグループ会社の商品
変更後	300株以上1,000株未満	キングジム公式オンラインストア KING JIM Store (https://www.kingjim-store.jp/) で利用できる6,000円の株主優待クーポン1枚
	1,000株以上	キングジム公式オンラインストア KING JIM Store (https://www.kingjim-store.jp/) で利用できる12,000円の株主優待クーポン1枚

変更時期

2022年6月20日現在の当社株主名簿に記録された3単元（300株）以上ご所有の株主の皆様を対象といたします。
なお、贈呈時期は2022年9月下旬に発送予定の当社定時株主総会の決議ご通知に同封し贈呈いたします。



キングジム公式オンラインストア

KING JIM Store



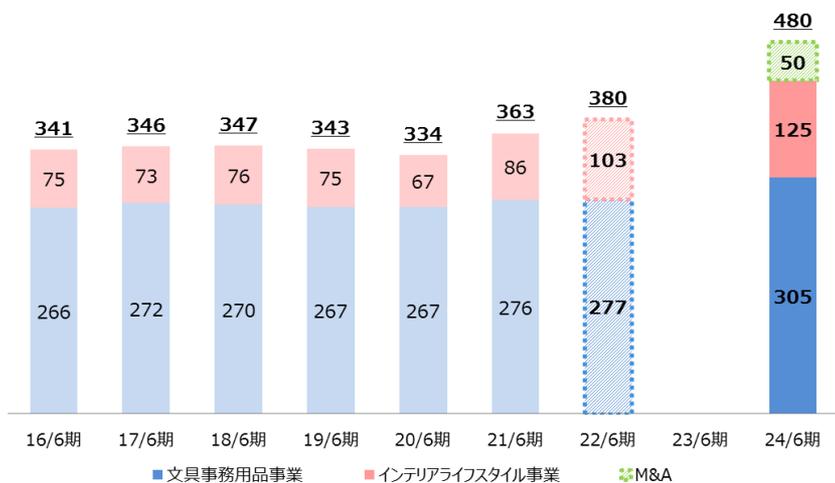
- 2022年6月期 第2四半期実績
- 2022年6月期 通期業績予想
- 株主還元について
- **中期経営計画について**
- グループ経営について
- サステナビリティへの取り組みについて
- プライム市場について
- コーポレートメッセージ

■ 経営数値目標（2024年6月期）

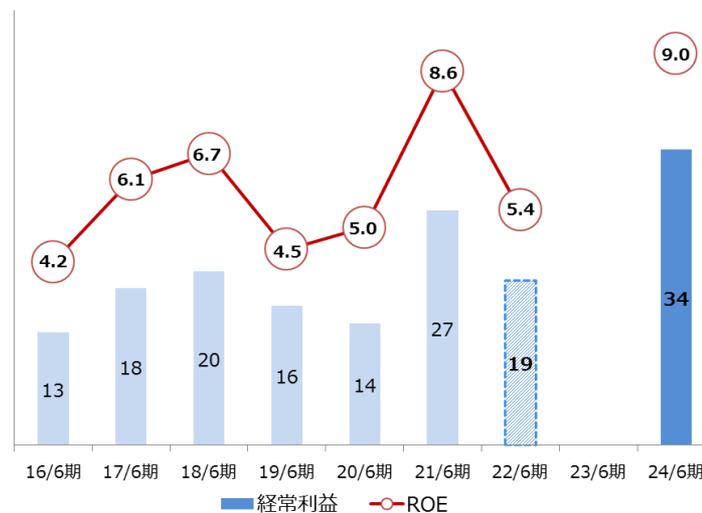
売上高	480億円	文具事務用品事業 305億円
		インテリアライフスタイル事業 125億円
		M&A 50億円

経常利益	34億円
経常利益率	7%
ROE	9%

－売上高（億円）－



－経常利益（億円）・ROE（%）－



方針

成長分野への注力と基盤事業の更なる強化

アフターコロナに向けての基盤づくり

1

事業領域の拡大

- 新しい働き方・暮らし方に向けた商品の開発。
- 紙収納からモノ収納へ。雑貨や家庭用品の拡充。
- M&Aによりグループとして発展。

2

海外3工場の競争力強化

- 文具以外の生産技術の導入。
- 生產品目の拡大。

3

サステナビリティへの取り組み

- 暮らしとビジネスを便利で快適にする商品を通じた社会貢献。
- 地球環境に配慮した調達・設計・開発。気候変動への対応を実施。
- ダイバーシティの推進と多様な働き方の実現。

■ 「事業領域の拡大」

成長分野への注力 ①

インテリアライフスタイル事業

2021年11月

ライフオンプロダクツ(株)
の全株式取得



(株)ラドンナ・(株)アスカ商会・(株)ぼん家具と合わせて、
グループシナジーの更なる強化を目指します。

LADONNA

asca

株式会社 ぼん家具
BON FURNITURE CO.,LTD.



成長分野への注力 ①

インテリアライフスタイル事業



Life on Products (ライフオンプロダクツ)

あなたの心を愉しきでイロドル。
 ちょっとした驚きとよろこび、新しい暮らしのカタチをライフオンプロダクツはご提案します。
 「こうあるべき」ではなく「こうありたい」
 自由なアイデアで一人ひとりの自分らしいライフスタイルをお届けします。

2021年11月にグループ入り

すでに市場では確固たる地位を築いており、生活の質を高め暮らしを豊かにする製品・サービスを提供しています。



■ 「事業領域の拡大」

成長分野への注力 ②

コロナ禍においてヒット商品となった自動手指消毒器「テッテ」に続けて、従来にはなかった新しい衛生意識に対応した商品を次々と投入しました。

衛生・健康用品



卓上CO2モニター

■ 「事業領域の拡大」

成長分野への注力 ②

新しいマスキングテープの形をご提案し成長を続ける「KITTA(キッタ)」に続いて、これまで市場にはなかった「SODA(ソーダ)透明マスキングテープ」を投入、ラインアップの拡充を図っています。

女子文具



■ 「事業領域の拡大」

成長分野への注力 ②

当社が得意とするちょっとした困りごとを解決するアイテムとして、「ブギーボード」などのデジタル文具や、ヒットしている「スピーカー付きマイク」などのオフィス環境用品の開発を強化しています。

「デジタル文具」



「オフィス・生活環境用品」



■ 「事業領域の拡大」

基盤事業の更なる強化

当社の基盤事業である「テプラ」においては、新しい表示需要に向けてのご提案や、時代に合わせたスマホ専用「テプラ」などを投入して、さらなる強化を図っています。

「テプラ」



TEPRA
PRO

MARK



TEPRA
Lite



NEW

ラベルライター「テプラ」
SR-R980



TEPRA × **PANDUIT**
PRO

カットラベル・パンドウイット



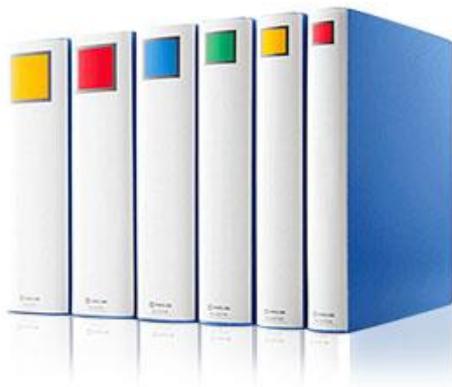
■ 「事業領域の拡大」

基盤事業の更なる強化

キングファイルやクリアファイルなど創業時より当社を代表してきたステーショナリーにおいては、機能性やデザインに優れた新製品を開発しています。

「ステーショナリー」

日本のオフィスのスタンダードファイル。
キングファイル



クリアファイルヒクタス（透明）

NEW



ホルサック クリアホルダーファイル

NEW



■ 投資方針

● 成長分野への戦略投資の拡大

- 事業領域の拡大 100億円
- 新製品開発・生産設備投資 20億円
- 開発、海外事業をはじめとする成長分野に重点的に人材投資

● 効率化のための投資

- 販売物流システムの刷新 10億円

※事業領域の拡大のための投資として、

2021年11月にライフオンプロダクツ株式会社の全株式を取得いたしました。

- 2022年6月期 第2四半期実績
- 2022年6月期 通期業績予想
- 株主還元について
- 中期経営計画について
- **グループ経営について**
- サステナビリティへの取り組みについて
- プライム市場について
- コーポレートメッセージ

当社のグループ経営では、グループ各社の自立性を尊重しつつも、共同開発・調達や販路の相互利用や人材交流を通じて有機的に連携することで、グループシナジーを強化し、事業の成長を加速させていきます。

■ 文具事務用品事業

■ KING JIM



PT.KING JIM INDONESIA



KING JIM (MALAYSIA) SDN.BHD



KING JIM (VIETNAM) CO.,LTD.

海外生産拠点

共同開発・共同ブランドの展開
 共同調達・支援、
 販路の相互活用
 人材交流、
 PR・知財・法務・決算など管理面の支援

■ インテリアライフスタイル事業

LADONNA

株式会社ラドンナ

asca

株式会社アスカ商会



株式会社ほん家具



ライフオンプロダクツ株式会社

海外 販売・調達拠点



錦宮（上海）
貿易有限公司



錦宮（香港）
貿易有限公司



錦宮（深圳）
商貿有限公司

作業手袋等の製造・販売



ウインセス株式会社



- 2022年6月期 第2四半期実績
- 2022年6月期 通期業績予想
- 株主還元について
- 中期経営計画について
- グループ経営について
- **サステナビリティへの取り組みについて**
- プライム市場について
- コーポレートメッセージ

独創的な商品の開発による社会貢献とともに、環境への配慮、多様な人材の活躍推進、ガバナンスの充実によって社会課題を解決し、持続可能（サステナブル）な社会の実現に寄与するため、2021年9月に部門を横断した全社的な組織として設置した『サステナビリティ委員会』を中心とし、様々な活動をキングジムグループ全体で実践してまいります。また、国際社会共通の目標であるSDGsの達成に向けて、取り組みを行ってまいります。

《実施している取り組みの一例》



- 2022年6月期 第2四半期実績
- 2022年6月期 通期業績予想
- 株主還元について
- 中期経営計画について
- グループ経営について
- サステナビリティへの取り組みについて
- **プライム市場について**
- コーポレートメッセージ

当社は、部門横断的な組織である「プライム市場移行準備委員会」を設置し、移行準備を進めてまいりました。

その結果、2022年4月に「プライム市場」へ移行することが決定しております。

2021年に改訂されたコーポレートガバナンス・コードの各原則において、「プライム市場」には高い水準での対応が求められております。

当社は、第10次中期経営計画の施策にある「サステナビリティへの取り組み」に加え、「ガバナンス体制の一層の強化」や、「積極的な情報開示」等についても引き続き対応を行い、ステークホルダーの皆様のご期待にお応えしてまいります。

2021年9月1日	「プライム市場」への市場選択申請書を提出
2021年12月16日	改訂版コーポレートガバナンス・コードに対応した報告書を提出
2022年1月11日	東京証券取引所より新市場区分の選択結果が公表され 「プライム市場」への移行を確認
2022年4月4日	一斉移行予定

- 2022年6月期 第2四半期実績
- 2022年6月期 通期業績予想
- 株主還元について
- 中期経営計画について
- グループ経営について
- サステナビリティへの取り組みについて
- プライム市場について
- コーポレートメッセージ

おどろき、快適、仕事と暮らし



キングジムグループは、ビジネスシーンに加え、暮らし全般を快適にすることを目指し、第10次中期経営計画においても事業領域の拡大を方針として掲げました。

キングジムグループ全体の市場へのアプローチ方法が変化する中で、当社グループの商品を通じてみなさまの仕事と暮らしにおどろきと快適さを提供したい、という思いを込めて、コーポレートメッセージ「おどろき、快適、仕事と暮らし」を策定いたしました。

これからもキングジムグループは、コーポレートメッセージ「おどろき、快適、仕事と暮らし」のもと、世の中に新たな価値を提供し、社会に貢献してまいります。

キングジムは

仕事と暮らしを快適にし、

「あたらしさ」にこだわり続けてまいります。

おどろき、快適、仕事と暮らし



本資料に記載している業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。